

昭和三年六月

# 職業紹介公報

第十五號

統計	資料	研究	方針	地點	研究所	局
職業紹介事業概況	職業紹介取扱成績	職業紹介服務取扱成績	職業紹介所職員異動	職業紹介生活者ノ失業防止並ニ救濟ニ關スル件	職業紹介所名及電信略號ノ件	賃給生活者ノ失業防止並ニ救濟ニ關スル件
營利職業紹介事業概況	職業紹介事務打合會	職業紹介事務打合會	職業紹介事務打合會	職業紹介事務打合會	職業紹介事務打合會	職業紹介事務打合會
日能労働紹介月報	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況
十三都市賃銀表	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況
海外關係事項月報	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況	職業紹介事業概況

中央職業紹介事務局

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100

始



# 露光量違いの為重複撮影

<b>中央職業紹介事務局</b>		<b>東京地方職業紹介事務局</b>
(東京市麹町區元衛門町社會局内 電話丸ノ内(23)二、八六七番)		(東京市麹町區元衛門町社會局内 電話丸ノ内(23)三、八八九番)
<b>名古屋地方職業紹介事務局</b>		<b>大阪地方職業紹介事務局</b>
(愛知縣、岐阜縣、石川縣 電話東五、八四〇番)		(大阪市西區鶴南通五丁目 電話土佐堀一、九一〇番)
<b>福岡地方職業紹介事務局</b>		<b>奈良縣、畿賀縣、鳥取縣 山口縣、福岡縣、長崎縣 和歌山縣、德島縣、香川縣 大分縣、佐賀縣、熊本縣 宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣</b>
(福岡縣、大分縣、佐賀縣、熊本縣 電話一、九三二番)		各職業紹介所 (六〇)
<b>各職業紹介所</b>		各職業紹介所 (三四)
<b>北海道、東京府、神奈川縣 埼玉縣、群馬縣、千葉縣 茨城縣、栃木縣、山梨縣 長野縣、新潟縣、宮城縣 福島縣、岩手縣、青森縣 山形縣、秋田縣 大阪府、京都府、兵庫縣 奈良縣、畿賀縣、鳥取縣 山口縣、福岡縣、長崎縣 和歌山縣、德島縣、香川縣 大分縣、佐賀縣、熊本縣 宮崎縣、鹿兒島縣、沖繩縣</b>		(一九)

## 局 報

### 辭令

名古屋地方職業紹介事務局 中野熱一  
依頼免本官

昭和三年六月八日 内務省

懲給生活者ノ失業防止並ニ

救濟ニ關スル件

社第一五五三號

昭和三年六月二十三日

大阪府知事 力石原一郎

社會局長官 長岡隆一郎

懲給生活者ノ失業防止並ニ救濟ニ關スル

作報告

義ニ本府失業防止委員會ニ對々諸問セタ方記事

項ニ付今回別紙ノ通答申有之候條段及報告既

也

記

「懲給生活者ノ失業防止並ニ救濟ニ關スル件」

答申(23)

難ニ本會ニ對シ請問相成致懲給生活者ノ失業防止

並ニ教誨ニ關スル件但重審議ノ遂々左記ノ通及答

申候也

昭和三年六月二十一日

大阪府失業防止委員會長

大阪府知事

大阪府失業防止委員會長

- 一、海外發展策ヲ充實シテ有爲ノ人材ヲシテ海外  
進出ノ機會ヲ得セシムルコト
- 一、移住組合ノ普及充實ヲ同リ移住者ニ對スル國  
家的保護策ヲ確立スルコト
- 一、教育政策ヲ改善シテ教授科目ノ整理ヲ爲スト  
其ニ實行の教育ヲ一層充實セシメ以テ學校教育  
ト實社會トノ關係ヲ密接ナラシムケコト
- 一、調查機關ヲ設置シ失業狀態ノ調査ヲ行フコト
- 一、失業者ニ對シ職業轉換ノ便ヲ與フル爲職業輔  
導機關ヲ充實スルコト
- 一、懲給生活者ノ爲専門ノ國立職業紹介所ヲ設置  
スルコト
- 一、採用者側ノ學費ヲ促シ授用ニ當リ學校別ニヨ  
モ待遇上ノ差別無く施設ノ供給ヲルコト

ケル聯絡日報記載職業紹介所名略  
號及發信電信略號ノ件

簡易生命保険積立金ノ貸付

通知告示 第千六百十六號

簡易生命保険積立金貸付規則第一條ニヨリ貸付ヲ  
爲スベキ昭和三年四月 質押立替資金

公設職業紹介所 貸付ノ目的及貸付利率  
就職旅費貸付及日勤労者質押立替資金  
技術及職業指導事業

小額生業資金貸付資金

其他略

右ニ對スル貸付利率年四分八厘

# 露光量違いの為重複撮影

## 中央職業紹介事務局

(東京市麹町区元祐町社会局内)

(電話九ノ内(23)二八六七七)

## 東京地方職業紹介事務局

(東京市麹町区元祐町社会局内)

(電話九ノ内(23)三八八九番)

北海道、東京都、神奈川県  
埼玉県、群馬県、千葉県  
茨城県、栃木県、山梨県  
長野県、新潟県、宮城县  
福島県、岩手県、青森県  
山形県、秋田県  
大坂府、京都府、兵庫県  
奈良県、滋賀県、鳥取県  
京都府、高知県  
愛媛県、静岡県、三重県  
富山県  
岐阜県、福井県、石川県  
山口県、福岡県、長崎県  
大分県、佐賀県、熊本県  
宮崎県、鹿児島県、沖縄県

各職業紹介所

(二〇六)

(六〇)

(三四)

(一九)

## 大阪地方職業紹介事務局

(大阪市西区御堂通五丁目)

(電話九ノ内(23)三八八九番)

北陸道、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、新潟県、宮城県、山形県、秋田県、大坂府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、鳥取県、京都府、高知県、愛媛県、静岡県、三重県、富山県、岐阜県、福井県、石川県、山口県、福岡県、長崎県、大分県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

各職業紹介所

(二〇六)

(六〇)

(三四)

(一九)

## 福岡地方職業紹介事務局

(福岡市西区御堂通五丁目)

(電話一九三二番)

北陸道、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、新潟県、宮城県、山形県、秋田県、大坂府、京都府、兵庫県、奈良県、滋賀県、鳥取県、京都府、高知県、愛媛県、静岡県、三重県、富山県、岐阜県、福井県、石川県、山口県、福岡県、長崎県、大分県、佐賀県、熊本県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

各職業紹介所

(二〇六)

(六〇)

(三四)

(一九)

## 局報

### 辭令

名古屋地方職業紹介事務局 中野熊一

依頼免本官

昭和三年六月八日 内務省

### 俸給生活者ノ失業防止並ニ

### 救濟ニ關スル件

社第一五五三號

昭和三年六月二十三日

大阪府知事 力石雄一郎

社會局長官 長岡隆一郎

俸給生活者ノ失業防止並ニ 救濟ニ關スル

件報告

義二本府失業防止委員會ニ對シ請問セシ左記ノ通及答

項ニ付今回別紙ノ通答申有之候條此段及報告候

也

昭和三年六月二十一日

「俸給生活者ノ失業防止並ニ 救濟ニ關スル件」  
以上

答申(寫)

義二本會ニ對シ請問相成候俸給生活者ノ失業防止  
並ニ救濟ニ關スル件情重審議ヲ遂ク左記ノ通及答  
申候也

昭和三年六月二十一日

大阪府失業防止委員會長

大阪府知事

記

### 福岡地方職業紹介事務局管内ニ於

### ケル聯絡日報記載職業紹介所名略

### 號及發信實信略號ノ件

### 福岡地方職業紹介事務局管内ニ於

### 簡易生命保険積立金ノ貸付

### 通信大信 久原房之助

通信大信 第千六百十六號

一、貸付原費 七五、〇〇〇、〇〇〇圓

簡易生命保険積立金貸付規則第一條ニヨリ貸付チ

一、貸付ノ目的及貸付利率

為スヘキ昭和三年度、簡易生命保険積立金貸付原

就職旅費貸付及日傭労働者賃銀立替資金

公設職業紹介所  
授産及職業輔導事業

小額生業資金貸付資金

其他略

右ニ對スル貸付利率年四分八厘



一、少年職業紹介用少年智能検査用紙を制定し製

調を望むの件  
一、少年職業紹介書類要領第九(イロハ)項の通報

を需むる期日の改正を望む件

札幌市

一、少年労働者日雇労働者等保護立法に関する件

其他の事項

石巻町

一、情報年報其の他の刊行物交換の件

鶴岡市

一、北海道出稼漁業労働者紹介に関する件

一、北海道開拓事業に從事する移住者の状況特に職業紹介所の紹介斡旋によるものに就て承りたし。

一、各般の施設中継を示すに足るべきものは通牒せられたき件

一、家庭内職紹介に関する件

盛岡市

一、内職求人求職者聯絡取扱に関する件

野付牛町

一、ガスター宣傳ビラ共同印刷に関する件

札幌市

一、會議出席者に関する件

茨城、栃木、埼玉、群馬縣下職業紹介事務打合會

主催 古河町

日時 六月十六日、六月十七日

会場 古河町役場

出席者 三十餘名  
東京地方職業紹介事務局長、同原田属、茨城縣那珂社會課長、鳥居属、埼玉縣秦属、栃木縣萩原社會事業主事補、群馬縣佐々木社會事業主事補及四縣下各職業紹介所職員其他關係者等。  
注意事項 東京地方職業紹介事務局

別項 高崎市 打合事項 調和町

一、求人求職聯絡の實績に關する件 足利市

一、北關東職業紹介所協會設立の件

一、少年職業紹介聯絡統一上小學校内に職業指導の受持係設置に關する件 熊谷町

一、求職の爲め來所する者にして就職の誠意を缺く者少からず之が對應策なきや。

一、求職小學校卒業兒童及其保護者の希望は變轉甚敷加ふるに職業紹介を誤解せる向多きか如し改善の方法如何。

一、概要町村に對し職業紹介所設置要望の件

本會決議を以て左記町村に對し設置獎勵文を主催(古河町)理事者より發送すること。

群馬縣 沼田町、蘆岡町、溫川町、太田町、富塙玉縣 大宮町、川口町、所澤町、秩父町、本庄町、深谷町

二、職員異動報告に關する件

職業紹介所職員任免異動報告に關し從來其時日の逕延せるもの若くは其の様式の相違せるものあり取扱上支障渺からず各位に於ても充分留意の上其任免異動に際しては所定様式により正副二通市町長より速に報告せらるゝ様適宜措置せられたし。

三、汽車汽船貨物引證取扱方に關する件

汽車汽船貨物引證の取扱に關しては未だ其請求受扱報告、書換返納に際し様式の不備、文書の不足並取扱處置の過誤等渺からざる向多きか如し徒に事務の煩雜を來すに過ぎざるを以て爾今一層關係法規並通牒に準據し遺憾なき様注意せられたし。

れたり。

四、事業狀況其他報告期日に關する件

職業紹介事業狀況(施行規則第二十三條)就職者汽車汽船貨物引證受扱心得第六修)紹介所經費國庫補助聯絡取扱成績、道府縣外紹介狀況、家庭内職業紹介狀況其他各種報告に關する所定報告期日(當該通牒)未だ逕延の向あり爾今一層この事なき様注意せられたし。

五、聯絡事務に關する件

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

向あり爾今一層この事なき様注意せられたし。

六、職業紹介方針及第二十條

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

七、職業紹介方針及第二十條

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

八、職業紹介方針及第二十條

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

九、職業紹介方針及第二十條

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

十、職業紹介方針及第二十條

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

十一、職業紹介方針及第二十條

職業紹介法施行規則第十三條第一項及第二十二條に依り副本を以て通報する求人及求職は聯絡上の必要事項を詳細記入するは勿論常に左記事項に就き特別留意をなし以て聯絡紹介の實績を擧ぐる事に力められ度し。

庄町、深谷町  
栃木縣 佐野町、栃木町、鹿沼町、真岡町  
茨城縣 下館町、太田町、猿町、日立町、松原町  
一、知識階級求人口開拓の良法なきや  
一、聯絡小學校所在地の少年求人口開拓の良策如何

一、東京地方職業紹介事務局發行の求人聯絡日報所載の大口求人口はなるべく詳細内容を附記せらるゝか又は原發職業紹介所に於て之を近縣各職業紹介所に通報せられたし。

一、職業紹介所經費國庫補助に關する件

一、東京地方職業紹介事務局發行の求人聯絡日報所載の大口求人口はなるべく詳細内容を附記せらるゝか又は原發職業紹介所に於て之を近縣各職業紹介所に通報せられたし。

一、職業紹介所經費國庫補助に關する件

協議事項 資藤局長 会場 今治市公會堂  
受援縣 新谷小學校

出席者 百八名 小學校職員、今治市職業紹介所員其他關係者

(同前) 講演者 少年職業指導に就て 資藤局長

並女工紹介打合會

主催 新潟市

甲信越職業紹介事務打合會

並女工紹介打合會

(6)

一、農家の長男は個性の如何を問はず眞の家業に就かしむべきか

一、少年職業指導に就て 資藤局長 会場 今治市公會堂  
講演者 少年職業指導に就て 資藤局長

主催 新潟市

甲信越職業紹介事務打合會

並女工紹介打合會

(6)

一、浮浪的求職者の取扱に關する件  
に關する件

山形縣下職業紹介事務打合會

主催 新潟市

甲信越職業紹介事務打合會

並女工紹介打合會

(6)

一、農家の長男は個性の如何を問はず眞の家業に就かしむべきか

一、少年職業指導に就て 資藤局長 会場 今治市公會堂  
講演者 少年職業指導に就て 資藤局長

主催 新潟市

甲信越職業紹介事務打合會

並女工紹介打合會

(6)

一、浮浪的求職者の取扱に關する件  
に關する件

山形縣下職業紹介事務打合會

主催 新潟市

甲信越職業紹介事務打合會

並女工紹介打合會

(6)

一、鮮人取扱に關し最善の方法承り度

一、縣内紹介事務打合會を毎年一同輪番開催するの件

卒業生就職に就き特に斡旋の勞を執ること

一、求職者の身元調査を敏速に爲し得る方法如何

一、少年職業指導に就て 資藤局長 会場 今治市公會堂  
講演者 少年職業指導に就て 資藤局長

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

一、求職者信用保険制度實施方に關する件

一、整理通報取扱方に關する件

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

一、青年季節労働者紹介に關し關係各地公設職業紹介所に於て聯絡紹介方法をとること

一、過隔地勤少年職業紹介に關する件

一、地方産業事情其他調査報告に關する件

一、青年季節労働者紹介委員會答申事項(五月二十八日附)東京地方職業紹介委員會答申事項(三月六日附)實施速進に關する件

一、地主補助金額に關する件

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

一、中央職業紹介委員會答申事項(五月二十八日附)東京地方職業紹介委員會答申事項(三月六日附)實施速進に關する件

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

一、現行聯絡方法の改善に關する件

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

主催 水戸市 日時 六月二十七日 会場 茨城縣議事堂

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

東京地方職業紹介事務局内藤局、茨城縣議事堂會課長、鳥田屬小沼社會事業主事補縣下各職業紹介所職員等

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

一、土浦職業紹介所の設置に伴ひ聯絡小學校及分擔區域を定むるの件

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

主催 水戸市 日時 六月二十七日 会場 茨城縣議事堂

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

東京地方職業紹介事務局内藤局、茨城縣議事堂會課長、鳥田屬小沼社會事業主事補縣下各職業紹介所職員等

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

主催 水戸市 日時 六月二十七日 会場 茨城縣議事堂

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

茨城縣下職業紹介事務打合會

一、官廳雇員採用は必ず職業紹介所を利用する様規制を其筋に建議するの件

会場 大阪市立中央職業紹介所

出席者 五年及五年半に達したる勤労者（昭和二年十二月末現在一一四名）五八名、來賓一一名、市一八名、計八七名

#### 会順序

##### 一、表彰式

挨拶 山口社會部長

##### 表彰狀授與

大阪市長

##### 訓示 中央職業紹介事務局長

##### 祝電 答辭

##### 二、懇談

##### 三、餘興、琵琶講演、講談

概況 山口部長は五年以上勤労者は益々増加し達も一堂に會し難きに達したから、本年は五年及五年半に達したる勤労者のみを招いたことを述べ勤労者に對しては特に被験者の地位を離れ獨立踏歩の用意を力説した。

尋で大阪市長（代理源山助役）の訓示があつて司會者（松村）が中央職業紹介事務局長の祝電「盛大に五年半に達したる勤労者の成功を祈る」を朗讀したる際は演説拍手を以て之を迎へた。懇談に際しては勤労者は力強く結果を必要とし之が爲には昭和信用組合及労働共済會の進展を期すべきを主張し、又日本ペイント株式會社小畑社長及大阪職業紹介事務局齊藤局長等交々立つてこの催しは職業紹介所による就職者の永續しないとの主張に對する挑戦の立派な燧火である等の意見があつて餘興にうつり午後五時半散會した。

##### 四、問事項

##### 五、答辭

##### 六、懇談

##### 七、講演

##### 八、講評

##### 九、懇親會

##### 十、懇親會

##### 十一、懇親會

##### 十二、懇親會

##### 十三、懇親會

##### 十四、懇親會

##### 十五、懇親會

##### 十六、懇親會

##### 十七、懇親會

##### 十八、懇親會

##### 十九、懇親會

##### 二十、懇親會

##### 二十一、懇親會

##### 二十二、懇親會

##### 二十三、懇親會

##### 二十四、懇親會

##### 二十五、懇親會

##### 二十六、懇親會

##### 二十七、懇親會

##### 二十八、懇親會

##### 二十九、懇親會

##### 三十、懇親會

##### 三十一、懇親會

##### 三十二、懇親會

##### 三十三、懇親會

##### 三十四、懇親會

##### 三十五、懇親會

##### 三十六、懇親會

##### 三十七、懇親會

##### 三十八、懇親會

##### 三十九、懇親會

##### 四十、懇親會

##### 四十一、懇親會

##### 四十二、懇親會

##### 四十三、懇親會

##### 四十四、懇親會

##### 四十五、懇親會

##### 四十六、懇親會

#### 研究

##### 知識階級の就職難（上）

三澤房太郎

##### 知識階級の失業苦

現下我國の失業問題中最も重大な問題は知識階級の夫れである。一體大戰前に於いては知識階級の就職問題は殆んど注意されて居らなかつた。それは我國家興隆の時別言すれば資本主義經濟組織の

答申事項 右請問に對し五月三十日起草委員の決

定に係る原案を審議の結果左記の如く原案通り可決し直ちに答申することとした

#### 福島市性能検査機使用研究講習會

会場 福島市役所樓上

主催 福島市

受講者 三十名

秋田職業紹介事業講習會

会場 秋田市記念館

主催 福島市職業紹介所

受講者 百二十五名

#### 福島市職業指導員講習會

会場 福島市役所

主催 福島市

受講者 六月六日

#### 福島市職業指導員講習會

会場 福島市役所

主催 福島市

受講者 六月七日

#### 福島市職業指導員講習會

会場 福島市役所

主催 福島市

受講者 六月二日

#### 福島市職業指導員講習會

会場 福島市役所

主催 福島市

受講者 一千餘名

#### 福井職業紹介所五週年記念講演會

会場 青森縣

主催 職業問題と職業指導

受講者 職業少年保護の問題

会場 福島市

主催 職業指導員講習會

受講者 章葉期兒童に対する職業指導

会場 社會課長

主催 高山直道

#### 福井職業紹介所五週年記念講演會

会場 青森縣

主催 職業問題と職業指導

受講者 職業少年保護の問題

会場 章葉期兒童に対する職業指導

主催 社會課長

#### 福井職業紹介所五週年記念講演會

会場 青森縣

主催 職業問題と職業指導

受講者 職業少年保護の問題

会場 章葉期兒童に対する職業指導

主催 社會課長

#### 福井職業紹介所五週年記念講演會

会場 青森縣

主催 職業問題と職業指導

受講者 職業少年保護の問題

会場 章葉期兒童に対する職業指導

主催 社會課長

#### 福井職業紹介所五週年記念講演會

發達過程にあつたので知識階級の需要は相當あり

學校卒業生は吸收して餘りなかつたからである。

當時世の父兄は其の子弟をして重要な社會上の地位や富を得しむることを目的とし高等の教育を受けしむることを誇りとしてつたのである。そし

て其の動機を推量して見ると、二種類あつたやうに思はる。其の一は藩閥が自滅の勢力を維持發展せしめやうとして鄉黨其他の關係者より有爲なる青年を拔擢し之れに教育を受けしめ以つて人材を養成したことである。其の二是間外のものが先輩其他の後援を受くることが出来ないので、教育を受け知識を獲得し夫れに依り、社會上の地位を得るより外はない關係上、有爲な青年の教育を進んで行ふ様になつたことである。

従つて多くの父兄は教育を營利視し其の子弟の教育の爲には先祖代々の動産不動産を賣り拂ふこ

とも敢て厭はなかつたのである。然しかく決斷の中には教育が知識階級をして社會に於いて優越な地位を占めて居つたと見らるゝ有識階級の仲間入りを爲さしめる方法として、或は下層階級が上層

階級に進出する手段として考へられてあつたからであると思はる。そして子弟の教育が營利化され從ひ更に投機化されるに至つた。若し子弟が教育を受けても社會的地位や富を得ない時は不成

功と考へられ、鄉人は之れを嘲へるに嘲笑を以つてした。私達は良き教育を受けた子弟が不成功に終つたり在學中或は卒業後間も無く死亡したので財產を失ひ或は莫大な債務を負ふ父兄が悲惨な境遇に陥れるつて居るのを屢々見聞する。ことがあつた。然るに大戰當時に於いて我國經濟社會が好況に向ふに從ひ公私各方面より知識階級の需要が激増し、それが限り無く續いて發生するだらうと思はしめた。知識的經濟的諸活動が益々擴張され、複雜化され、國內の凡ゆる產業——古い方よりも新しい方——より知識階級の需要が激増し、學校卒業生は卒業前より既に約束を締結するものあり、莫大なる支度金を給され、羽が生へて飛ぶ様に賣れて行つた。國家並に地方自治團體も其の必要とする限界以上に其の行動範囲を擴張し、官公吏等を雇員した。

此の様な狀態であつたので知識的な熟練や高度の資格を要せざる地位も、高給の知識階級に依り満され、夫れに群集つた若い知識階級も尙容易に就職し得ると云ふ狀態であった。

かゝる趨勢にあつたので、自然の勢で、學校の增设や昇格が企圖された。そして夫れ等學校から卒業生が出てやうとする時平和克復の聲が鳴つた。その平和の聲の音は近代經濟社會の慘魔の呪の聲であつた。

たとは誰も知らなかつたらう。

たとえ知識階級が減少した。大戰終了と同時に公私企業は急激に縮少した其の為め知識階級の需要が急激に減少した。許りで無く實際に就職して居る人々も必要になり幾多の人々が淘汰され、内部を満して居る空氣が押し出された。然が故に、内部を満して居る空氣が押し出されたりを、押し出された人々こそ災難であつて、何等の責任も無いのに生活資源たる收入を得る道を失ひ、羈縛に泣き叫ぶ家族の叫喚に怖れ戦々が淘汰され、淘汰首された。此の様な状態は恰もゴム風船が放縮し、内部を満して居る空氣が押し出された。然るに大戰當時に於いて我國經濟社會が好況に

て、何等の責任も無いのに生活資源たる收入を得る道を失ひ、羈縛に泣き叫ぶ家族の叫喚に怖れ戦々が淘汰され、淘汰首された。此の様な状態は恰もゴム風船が放縮し、内部を満して居る空氣が押し出された。然るに大戰當時に於いて我國經濟社會が好況に

て、何等の責任も無いのに生活資源たる收入を得る道を失ひ、羈縛に泣き叫ぶ家族の叫喚に怖れ戦々が淘汰され、淘汰首された。此の様な状態は恰もゴム風船が放縮し、内部を満して居る空氣が押し出された。然るに大戰當時に於いて我國經濟社會が好況に

事業團體名	種別	解雇者	概數	解雇時	備	考
三井物産株式會社 東京支社	社員	大正十一年四月二日	三〇〇	三月七日	日本労働年鑑に依る	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十四日	二〇〇	三月八日	本文ニハ二百数十名トア	

事業團體名	種別	解雇者	概數	解雇時	備	考
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	一〇〇	二月合	本文ニハ七十餘名	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ二百數十名トア	

事業團體名	種別	解雇者	概數	解雇時	備	考
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ七十餘名	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ二百數十名トア	

事業團體名	種別	解雇者	概數	解雇時	備	考
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ七十餘名	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ二百數十名トア	

事業團體名	種別	解雇者	概數	解雇時	備	考
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ七十餘名	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ二百數十名トア	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ七十餘名	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ二百數十名トア	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ七十餘名	
久原商事株式會社	社員	大正十二年五月二十一日	二〇〇	二月合	本文ニハ二百數十名トア	

京都市	奈川市	同
神奈川市	同	
東京市	同	
日本製鋼所	同	
滿洲鐵道會社	同	

大正十三年

四月中  
三月廿一日  
淘汰

誠首  
京都奥村電機商會  
臺北臺灣日月潭電力工  
事務員

九月中  
三十一月  
同

九月中  
三十一月  
同

九月中  
十二月中  
淘汰及中止

東京都	東神奈川市	同
福岡市	同	
東京市電氣局	同	
東京市	同	
横須賀市	同	
神奈川縣	同	
靜岡縣	同	
神奈川縣	同	
神奈川縣	同	
神奈川縣	同	

不明三月  
三月  
同

福岡市吏政整理發表約二  
月

岐阜大分縣  
朝鮮殖產銀行  
東拓會社  
京城鐵道局

福島縣古河炭坑社  
東亞キネマ社  
漁名郡小學校教員  
社員

大正十三年  
九月  
同

九月  
同

九月  
同

以上の数字は極めて不確実な数であるが試しに判明して居る数字だけを集計して見ると二萬二千人以上になつて居る。

然るに公私事業團體の内訳整理が行はれ失業者が續々と現はれて来て居る時に、他方戰時好況に於いて建設擴張され學校の卒業生が潮の様に押し寄せて來た。知識階級の供給過剩知識階級の恐慌時代がやつて來た。

### 學校卒業生の增加

然らば知識階級の供給過剩はどう云ふ風に現はれて居るか。次に生產方面で数字の上から述べ見て見よう。試に戰前と戰後と相對比し學校數の増加の状況を示すと次の通りである。即ち帝國大學は大正三年には四校であったが大正十三年には五校に

増加して居るがこれが大學院及學部數を見ると大正三年には一九であつたが大正十三年には二八と増加して居る。官立私立大學を見るに大正十年に大學令が布かれた時に一三校あつたが、大正十三年には二七校に増加して居る。高等學校は大正三年には二校に増加して居る。高等學校は大正十三年に八校があつたが大正十三年には二八校に増加して居る官立實業專門學校は大正三年の統計が不明であるから六年の統計を見ると七年には二三校とあるが大正十三年には三十萬四七〇校あつたのが大正十三年には八二校に増加して居る。官立實業專門學校は大正三年に二二校あつたのが大正十三年に四七校に増加して居る中學校は大正十三年に三一九校のものが大正十三年に四九校に増加し高等女學校は大正三年に二一四校なのが大正十三年に五七六校と増加し實科高等女學

校は大正三年に一三二校のものが大正十三年に一七〇校に増加して居る。

之れを更に數の方から見ると専門學校高等學校大學の入学者が大正三年に九千六百五十八人あつたのが大正十三年に三萬二千九百九十二人に増加し約三倍になつたのである。又中學校、高等女學校、實科高等女學校の入学者が大正三年には十一萬三千〇二十三人であつたが大正十三年には三十萬四千六百二十一人に増加した即ち戰前に比し約三倍の増加を示して居るのである。

（未完）

### 少年の希望職業の價值（上）

属木田徹郎

職業指導にとつて最も重要なことは理論と

實踐との合成、即ちテクニツカの問題です。

以下其の出發點希望職業に就て斯る考案をして見たいと思います。

正しい職業指導は被指導者の希望職業より出發すべきもので、同時に誤まつた希望が如何に墨なものであり、適性を全然無視したものであるかと言ふことは、指導の一報過程の結果を見ても既に明かなことでありませう。此の意味は二つの根據から出でるのであります、即ち先づ此の職業の希望によりまして指導者と被指導者との間に職業指導の效果を擧げるのに缺くことの出来ない信用の橋を架けるので又指導の最も主要な問題即ち之から明かにしやうとする特性と希望職業との一致即ち適性決定の明白な出發點となつてゐるものであります。

ことは例へば『電氣技術』と云ふ様な希望職業を片付けやうとして、子供の頭から冷水をアッカケル様なことをするのであります。何と云ふ「電氣技術」。それは馬鹿げたことだ。そいつは中々熟達はしませんよ、只まあ研究するのがせい／＼ですね。君は鋸削工になり給ひ。それが丁度適當です。こんな簡単に拒絶すれば若い求職者はすつかり望を失

つて其の職業への意圖、欲望、希望を發表する勇氣がなくつてしまふことは明白なことです。

その反対に考へねばならぬことは次のことです。即ち相談を求める者に話をさせること。最も良の最適任の指導者は指導の間に餘り自分で話したり講義をせずに相談を求める者に十分話させるものなのです。で話さへすれば直ぐに最初から持つてゐた偏見を棄て又友達の様に話す間に底の底迄さらけ出しますから指導者は何も顧慮する必要なく、以後の指導を充分に行ひ得るので、即ち相談を求められる求職者の思想感情意志が分るのであります。

次に口述の指導は規則として常に職業の希望から出發すべきであります。例へば後輩が數へられる様な場合に、此の特別な狀態で以て指導者と指導に対する特別な結合點が出來ます、然し大抵次の質問で初めるのが一番いゝ、「揚テ、フリツ、お前は何にならうとするのか」。少年が未だ學生であるか又は學校を出たてなら大概その名前で又「お前」と呼んでよい。之は職業指導に必要な信頼する氣分を造るのに非常に貢献します。學校を出て相當長くなつた者は其の期間に出来た名譽心と自我心を受けたる様に丁寧に「あなた」と呼ばねばなりません。

今は卒業四、五ヶ月前求職兒童に關して教師、組長、校長から送つて来て、各職業指導所にある學校調査書で名前と名字は分ります。此の學校調査書は將來への希望を含み尙附録に示せる如き二重の形式となつてゐます。即ち「どの職業を貴君は最も望まれるか」——又「何の方面が好きですか」に答へます。此の調査書で名前と名字は分るのです。之は意を用ひた特別な經驗を基継として居ります。

極めて平易で、亦實際平易で、なだらかなことと之を必要とするのですが、此の初めての對話が、其後の少年の對處に相當な指導精神を與へ、遂には學の入学者が大正三年に九千六百五十八人あつたのが大正十三年に三萬二千九百九十二人に増加し約三倍になつたのである。又中學校、高等女學校、實科高等女學校の入学者が大正三年には十一萬三千〇二十三人であつたが大正十三年には三十萬四千六百二十一人に増加した即ち戰前に比し約三倍の増加を示して居るのである。

（未完）

## 地方事情

### 工場勞働者の遠距離紹介

大阪地方職業紹介事務局

(愛媛縣川之石町職業紹介所より某人紹介)

當局曾下滋賀縣石山村所在某人紹介會社滋賀工場に於て昭和二年八月作業開始と共に職工の募集をなすに當り(募集確定人員男女職工約五百名)、鐵道工場が從來採つたる職工募集方法の外新に公益職業紹介所を利用せんと試み愛媛縣下宇和島市川之石町及び大洲村各職業紹介所へ求人の申込をせり、最近又續々職業紹介所を利用せんとする傾向ありて求職者取扱上め参考に資する爲に取扱數最も多かりし川之石町職業紹介取扱額本を概説せんとす。

求人の受付たる時日は昭和二年八月にして求人數は男女工共に明示せざ當分の中何人にも探用する旨申し出たるに過ぎず。

#### 二、求人に應接したる時の經過

イ、雇用條件  
應募者案内の如くにして大阪地方職業紹介事務局印刷「人造織物製造工場に於ける労働事項」参照

ロ、求人の面接  
各種機械工場に於ける職工募集の舊慣を打破し積幣を避けんには公益紹介所の利用は最も適切であると信じたるに依ると會社側は陳述して居る。

#### 三、川之石町職業紹介所に

### 申込たる理由

當該工場勞務課人事主任は會々愛媛縣下に姪成關係者あり其の紹介にて本所及び他の職業紹介所申込み確實なる優良職工の紹介を希望したのである。

求職者にして紹介せるものは昭和二年十二月調に

て四十二人(全部就職)に達し其の年齢は十六歳乃至二十六歳なり、教育程度は中學校中途退學者、補習學校卒業又は同程度中途退學者、高小等小各

卒業者等なり、又出身地は本縣内四十人(内川之石

町附近三十七人)、大分縣一人宮崎縣一人等なり。

### 七、就職者の作業及給料

男子はギキスコース部即ち紡錘部に多く採用されたるが慣れる間は種々なる暁に恐怖を持ちたるが慣れるに及びて作業に興味を抱き得るに至れりと、此の作業は八時間三交代若しくは八時半八時間三交代を以て労銀に割増を附することは會社規定の定むる所なり。

又祝祭日及び日曜日と雖も休日を得られざるを以

り然れどもギキスコース部は前述の規程に基き割増支給あり、これに據りて一日十五錢の増給されたり(二十錢女工は十錢各々低額なり)。

今労銀を見るに年齢に依り作業の種類に依りて相異り一定せざれども最低は七十五錢を支給されたり(昭和三年五月末現在工場内總職工勞銀最低平均額に比して男工は二錢高く女工は四錢低額なり)。

最高一回三十錢(同上調最高平均額に比して男工は三十錢女工は十錢各々低額なり)を支給されたり(三錢乃至五錢は被服手當ならん手)。

### 八、現在勤務者数

昭和三年五月末現在調に依れば勤務者數は僅に十名位にして他は何れも退職したりと云ふ、今其の事情につき調査したるに工場側の意見は創業當時

四回九十二錢 汽船(自川之石 二割引運賃)  
六十八錢 汽船(自神戶 五割引運賃)  
一回三十錢 雜費(船内機器其他諸費)  
八十四錢 拏當二回分(汽船辨:三十五錢 茶七錢)

### 九、求職者體格上の經驗

五名以上の求職者に對しては所員之を引率として送ひ神戸へ上陸後も猶付き継ひたる例があり輸送上に困難なるは想像以上の體験を得たりと。

### 十、會社より支給されたる諸費用

昭和三年五月末現在調に依れば勤務者數は僅に十名位にして他は何れも退職したりと云ふ、今其の事情につき調査したるに工場側の意見は創業當時

四回九十二錢 汽船(自川之石 二割引運賃)  
六十八錢 汽船(自神戶 五割引運賃)  
一回三十錢 雜費(船内機器其他諸費)  
八十四錢 拏當二回分(汽船辨:三十五錢 茶七錢)

計七回七拾四錢  
六十九十二錢 汽船(自川之石 二割引運賃)  
六十八錢 汽船(自神戶 五割引運賃)

六十八錢 汽船(自神戶 五割引運賃)

一回三十錢 雜費(船内機器其他諸費)

八十四錢 拏當二回分(汽船辨:三十五錢 茶七錢)

四回九十二錢 汽船(自川之石 二割引運賃)  
六十八錢 汽船(自神戶 五割引運賃)

一回三十錢 雜費(船内機器其他諸費)

八十四錢 拏當二回分(汽船辨:三十五錢 茶七錢)

- 病歴ハ特ニ肋膜炎ノ既往症ニ注意スベシ
- 胸圍ハ男子乳頭上水平線、女子第四肋骨間水平線ニテ測定ノコト
- 體重ヲ測ルニハ裸體ナラサルトキハ風袋ヲ差引キ記載ノコト
- 視力0.7以下ノ者ニハ近距離視力ヲ測定ノコト
- 聽力ハ五米ノ距離ニテ囁語ヲ聴取セシメ體聽アルトキハ始メテ聴取シ得タル距離ヲ米数ニテ記載ノコト
- 鼻検査ニハ嗅覺ヲ注意ス
- 甚シキ吃音ハ採用セズ
- 月經ノ正順、月經ノ困難、帶下、下腹痛、尿意頻數、排尿時疼痛ノ有無等ヲ問診シ且ツ不腹部ノ脛痛、腰痛等ニ注意ノコト
- 呼吸器、心臓ノ項ヲ大ニシタルハ特ニ精密ナル診査ヲ要スルノ意ナリ

### 體檢標準表

年 齢	別	身長	胸圍	體重	區 別	督 管	體 重	視 力	體 重	體 重	體 重
男	14—15	R	2.30	9,500							
	15—16	4.80	2.40	10,500							
	16—17	5.00	2.50	11,500							
	17—18	5.10	2.60	12,500							
	18—19	5.10	2.65	13,000							
	19—20	5.20	2.70	13,500							
	20以上	5.20	2.75	13,500							
女	13—14	R	2.30	9,200							
	14—15	4.55	2.40	9,900							
	15—16	4.60	2.45	10,800							
	16—17	4.70	2.50	11,500							
	17—18	4.75	2.60	11,900							
	18—19	4.75	2.60	12,100							
	19—20	4.75	2.65	12,500							
	20以上	4.80	2.65	12,600							

滋賀工場體格検査表		年月日	
氏名	年齢	住所	姓氏印
病歴	年齢	検査	医師
營養		四肢運動	
身長		畸形缺損	
胸圍		知覺異常	
體重		遺尿	
視力	左	膝反射	
眼	右	下腿浮腫	
聽力	左	平足	
耳	右	病臭	
鼻咽喉		霉菌病	
頸		消化器	
頭脳		脫脂	
背		花柳病	
		蛋白尿	
		糖	
		其他	
		檢查	

野田醤油製造株式會社  
解雇労働者紹介状況  
解雇者總數

過般野田に争議起れる際、労働組合に加入し居り  
争議に加はりて會社の出勤勧誘に應ぜざるもの、  
解雇者總數は九月三十日の一四六名以降一月二十  
三日迄に千四十七名であつたが其後歸社其他の事  
情により次の如き數となるに至つた。

解雇者歸趨調

(昭和三年五月二十六日現在調)

(千葉縣調査に依る)

内 調

七四五名

現に就職せるもの  
就職の見込あるもの  
未就職なるも副業を有する者  
全然就職の見込なきるの

三六〇名  
六一一名  
一八五名  
一三九名

之に對し中央及東京地方職業紹介事務局並東京附  
近紹介所に於ては銳意對策に務め出来得る限りの  
失業者防止と職業轉換に力を致し相當の成績を擧  
ぐるを得た、後六月二十五日に至り同町方面委員会  
と協力して臨時的人事及職業相談所を設けて之が  
對策を講ずることとなつた。

其の詳略は左の如くである。

臨時人事職業相談施設

計	月 日	
	求職者	來同再職業紹介券
四六	二一三	二一三
一四	二二三	二二三
一一	一一一	一一一
一	一一一	一一一

三、所見

1. 失業者は概ね著しく窮迫せる程度にあらざ  
るものゝ如く隨て求職に關して條件の有利な

一、實施組織及方法  
イ、主催 野田町役場並同方面委員会  
ロ、期間 自昭和三年六月二十五日至同年  
七月四日(自午前九時)  
ハ、場所 野田町西光院境内  
二、援助者 中央職業紹介事務局、東京地方  
職業紹介事務局、東京府職業紹介所、東京市  
職業紹介所、千葉市職業紹介所、千葉縣廳  
ホ、方法 個別的に對談し一般人事職業上の  
の相談に應ず。

二、實施成績  
イ、一般的人事相談、なし  
ロ、就職上の相談  
イ、一般的な人事相談、なし

るものを選ばんとする傾向あり眞面目比較的  
乏しきもの如し。

2. 野田町に執着を持ち同地附近に就職せんと  
する爲隔地的移動比較的困難なるもの多し。  
3. 眼前に益を控へ祭禮等あるため盆を終りて  
より他に就職せんとするものも少からずと觀  
せらる。八月、九月に入り求職希望者漸く多  
くなるにあらざるやと思料せらる。

資料

傳給生活者職業紹介取扱  
成績 (五月分)

全國俸給生活者職業紹介所中専門部設置あるは從  
來六ヶ所なりしも本月より東京地方職業紹介事務  
局管内横濱市中央職業紹介所に専門部設置せし  
め左の通り七ヶ所となる。

(一) 東京地方職業紹介事務局管内 三ヶ所  
東京市本郷職業紹介所 二ヶ所  
東京府職業紹介事務局管内 二ヶ所

(二) 大阪地方職業紹介事務局管内 二ヶ所

神戸市中央職業紹介所専門部  
名古屋市中央職業紹介事務局管内 二ヶ所  
名古屋基督教青年會職業紹介所専門部  
全國七ヶ所の俸給生活者職業紹介所の報告に基い

て五月分職業紹介事業概況は左の通りである。

一、販報概況

求職人數	男	女	計
求職者數	二三三	三九九	六三二
紹介狀交付數	一〇三二	二〇二	一、二三四
就職者數	一二三	八七	三六八
求職者數に對する就職者數の割合	一二・三%	一二・三%	一〇・九%
本月	一九五・三%	四六二%	

求職者數に對する就職者數の割合

前記五月中に於ける取扱成績を概観するに前月に  
比し稍求人數の増加を見る、此の求人數の主たる  
ものは官公署の六三人を第一とし個人商店五  
八人、工業會社三九人、商事會社三二人、保險會  
社二七人新聞雜誌社の一五人の順序で就職率は一  
二・三%である。

二、前月との比較

之を前月に於ける取扱成績と比較するに、求人數に  
於て三九七人、求職者登録數に於て一四九人、紹  
介狀交付數に於て九〇人、就職者數に於ても三四  
人、各增加を示して居る、就職率は前月一〇・九%  
であつたが本月は一二・三%である。

三、各管内状況

(一) 東京地方職業紹介事務局管内

管内に横濱市中央職業紹介所の俸給生活者専門  
部一ヶ所の増加を見たる結果、取扱所も三ヶ所  
となり從つて之の取扱數を前月と比較するに求  
人數に於て五九人(男五一人、女八人)求職者數  
に於て九七人(男八四人、女一三人)紹介狀交付

數に於て七四人(男七一人、女三人)就職者數に  
於て二三人(男一八人、女五人)の各増加を示し  
てゐる。之を職業別に就て觀るに求人數にあり  
て工業會社八人、官公署四人各々増加あり求職者  
數に於て個人商店二五人を筆頭として工業會社  
の二四人銀行一八人、保險會社六人各々増加を見  
るも官公署は減じてゐる。紹介狀交付數に於て個人商店の二四人、保險會  
社一人、官公署九人、銀行二人を増加し其他  
の二五人、工業會社一〇人、個人工場二人、各々  
増加を見る。就職者數に於て商事會社七人、新  
聞雜誌社六人、官公署四人、保險會社、個人商  
店一人の増加を示して居る。

(二) 大阪地方職業紹介事務局管内  
管内に二ヶ所の取扱所あり此の取扱數を前月に  
比較するに求人數に於て四人(男一人、女三人)  
人求職者數は六人(男二人、女四人)を減じて居  
る紹介狀交付數に於て三人(女)就職者數に於て  
八人(男四人、女四人)各々増加を示して居る。  
之を職業別に就て觀るに求人數に於て保険會  
社一人、官公署九人、銀行二人を増加し其他  
の二五人、工業會社一〇人、個人工場二人、各々  
増加を見る。就職者數に於て個人商店、工業會社に四人及六  
人増加あるも商事會社、官公署に於て減少し  
居れり紹介狀交付數に於ては何れも減少を示し  
て居るが就職者數に於て個人商店九人、新聞雜  
誌社に若干名増加を見るも官公署其他は減少を  
示した。

(三) 名古屋地方職業紹介事務局管内  
管内取扱所は二ヶ所である、之の取扱を前月に



### 大阪市労働共済会事業成績

(五月分)

大阪地方職業紹介事務局管内		大阪市		市水道部	
大坂市	三	六八九	一、二三八・五四〇	一、四四〇・〇〇〇	二、七七九・一七〇
神戸市	二	三四、四六四	三九、一六五・九四〇	二四、四六四・〇〇〇	三九、一六五・九四〇
小計	五	三五、一五三	四〇、四六四・四八〇	二五、九四〇・〇〇〇	四一、九四〇・二〇
前月小計	九	一九、二二八	二五、八三三・九四〇	二二、一三三・〇〇〇	三三、四三七・六八〇
三局總計	五	二九、七〇八	二九、一五三・九四〇	二九、七〇七・九四〇	二九、七〇六・一七〇
前月總計	九	二四、八八二	二〇四、五三六・九二〇	一八一、二〇七・三四九	二五六、四六六・一七〇

備考 福岡地方職業紹介事務局管内に於ては該當事項なし。

### 市町村立職業紹介所以外の労働實績立替狀況

經營主體別	取扱	東京地方職業紹介事務局管内		大阪地方職業紹介事務局管内	
		立	替	回	救
人	員	金	額	人	員
財團法人函館	一	四	六七・〇〇	四	八
財團法人函館	一	四	六七・〇	四	八
無料宿泊所	一	四	六七・〇	四	八
前月小計	二	三、二四三	三、三〇三・三一〇	二〇、四三六・六二九	四六、七〇〇・四七〇
三局總計	五	二九、七〇八	二九、一五三・九四〇	二九、七〇七・九四〇	二九、七〇六・一七〇
前月總計	九	二四、八八二	二〇四、五三六・九二〇	一八一、二〇七・三四九	二五六、四六六・一七〇

加入人員八一〇人で總計九、六二五人となり、移動者中缺格及脱退は経起三、六三五人本月五七五人で合つて平均一人當が七四八一錢にして最高四四圓一九人で結局五七八人尙療費は人員一二二人金額五〇圓四四錢一人平均四圆二〇錢保養手當、人員七人金額五五圓五〇錢一人平均七圓九三錢補償金人員一人金額二六圓五〇錢分報費人員一人金額二〇圓葬祭料人員一人金額二〇圓であった。

一、傷害共済

加入人員一四、八〇七人平均一日四七七・八人にして治療費は人員九人金額六一四五〇錢であり一人平均六圓八十三錢に當つてゐる。

二、健康及信用共済

加入人員八一〇人で總計九、六二五人となり、移動者中缺格及脱退は経起三、六三五人本月五七五人で合つて平均一人當が七四八一錢にして最高四四圓六〇錢最貧一圓五〇錢である。

### 一、傷害共済

加入人員一三、二二〇人平均一日人員四四〇・七人にして治療費は人員一八人金額一四〇圓六〇錢で合つて平均一人當が七四八一錢にして最高四四圓六〇錢最貧一圓五〇錢である。

二、健康及信用共済

加入人員七九〇人で計一〇、四一五人となり移動者中缺格及脱退は経起四、二一〇人本月分四五一人で計四、六六一人再加入の経起は五七八人本月分九六人計六七四人にして現在人員六、四二七人である。

尙醫療費は人員二三人にして金額一六四〇〇三錢

加入人員七九〇人で計一〇、四一五人となり移動者中缺格及脱退は経起四、二一〇人本月分四五一人で計四、六六一人再加入の経起は五七八人本月分九六人計六七四人にして現在人員六、四二七人である。

尙醫療費は人員二三人にして金額一六四〇〇三錢

保養手當は人員一五人金額九六圓補償金は一人で二四圓二〇錢分報費一人で二〇圓出産手當一人で八圓五〇錢である。

### 神戸労働保険組合事業概況

(昭和二年十月より十二月まで)

一、組合員(労働者) 九月に於ける組合員の數は七百八十九名で、八月と殆ど同じく本年度の最低であった、十月より漸次増加して十一月には千三十四名となつた、十二月に入り冬季失業者救濟土木事業が行はれ、これに使役せられた者を悉く組合に加入せしめたので、十二月には

増加した結果、割戻しを受くる資格者の割合が低下したためである、尚十月以降三ヶ月間の割戻しは別表の如く合計千九百十四件で、其の金額は千七十一圓十錢であるが、その内三ヶ月再割戻し附きのものが三百八十三件で其の金額は二百八十圓七十三錢である。

四、保険給付 十一月に業務死亡が一件あつた何れも遺族に對して規定の保険金を給付した癡疾給付は十月以來一件も無かつた、失業給付は前三ヶ月に比し約一割三分を増してゐるが、組合員平均數が八割以上を増加して居るから、組合員數に對する割合は反て減じてゐる譯である。

十一月に業務死亡が一件あつた何れも遺族に對して規定の保険金を給付した癡疾給付は十月以來一件も無かつた、失業給付は前三ヶ月に比し約三割弱を減じてゐる、前に述べた如く組合員數は平均八割餘を増してゐるに拘らず、これ等の給付が減じてゐることは、氣候による傷病の減少、及び新加入當初被給付資格を完備せざるもののが多數にあつたこと等が主なる原因である。

今十月以降三ヶ月間に於ける治療給付及び休養日給の一件平均日數並に金額を示せば左の如くである。

二、特別組合員(雇主) 組合員就業率に對する特別組合員の掛金率は、七月以降九月までの三ヶ月平均は八五%であったが、十月以降三ヶ月は前表の示す如く平均九四%弱に増加してゐる、尚表中十一月分の特別組合員掛金數は組合員の掛金数を超過してゐるが、これは止むを得ざる事情により、前月分の一都を繰入れたためである。

三、掛金割戻し拂 組合員の掛金に對する割戻し拂の割合は、前掲比率表の如くであるが、十月以降三ヶ月間の平均は三四%強に當り、七月以降九月までの三ヶ月平均四〇%に比し六%を低下してゐる、これは十月以来新加入者が非常に

### 主張地に於ける無料船員職業紹介狀況

(四月分)

通信省管船局よりの報告に依れば東京、横濱、大阪、神戸、門司、下關、若松、戸畠、長崎、函館、小樽にての四月分の取扱成績は左の如くである。

二、健康及信用共済 加入人員七九〇人で計一〇、四一五人となり移動者中缺格及脱退は経起四、二一〇人本月分四五一人で計四、六六一人再加入の経起は五七八人本月分九六人計六七四人にして現在人員六、四二七人である。

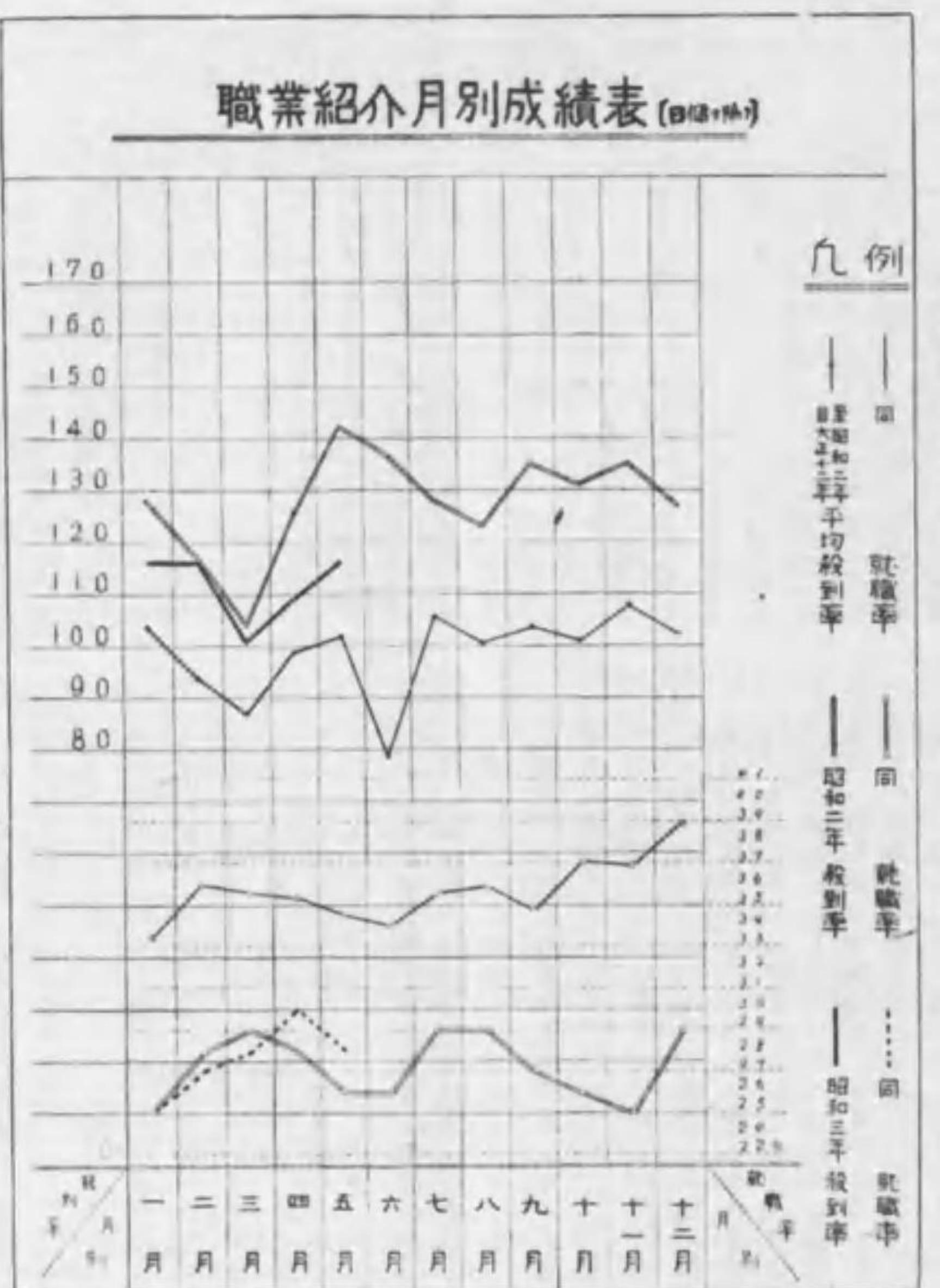
尙醫療費は人員二三人にして金額一六四〇〇三錢

加入人員七九〇人で計一〇、四一五人となり移動者中缺格及脱退は経起四、二一〇人本月分四五一人で計四、六六一人再加入の経起は五七八人本月分九六人計六七四人にして現在人員六、四二七人である。

尙醫療費は人员二三人にして金額一六四〇〇三錢

昭和三年五月に於ける十三都市卸賣物價指數(大正十年乃至十二年の全三箇年平均價格を一〇〇とし單純算術平均の方法に依り算出せるもの)は總合のもの十七品なり、而して之を十三都市別に觀れば平均指數の最も高きは横濱及金澤の各九二にして福岡の九一大阪及小樽の各九〇神戸、名古屋、仙臺及新潟の各八九廣島及高知の各八八東京





**備考**  
本表は凡例に示せる如く、經濟界の變遷周期を十年と見、最近五ヶ年間の平均を取りて各月の一  
般傾向を示し、昨年及本年の取扱状況と對照せしめたるものである。而して本表使用指數は總て  
就到率 ( $\frac{\text{就業者数}}{\text{就職者数}} \times 100$ ) 及就職率 ( $\frac{\text{就業者数}}{\text{就職者数}} \times 100$ ) を以てし、二指數の比較によつて略々其月の勢  
務需給狀況を指示せんとした。

## 統計

### 職業紹介事業概況 (五月分)

一、一般職業紹介概況  
全全國二百一ヶ所の職業紹介所の報告に基いて五月  
分職業紹介事業概況を述べる。

二、取扱概況  
求人登録数  
求職者再來数  
紹介状交付数  
就職者数  
求人數に對する求職者数の割合  
本月 前月 前年同月

三、取扱概況  
求人登録数  
求職者再來数  
紹介状交付数  
就職者数  
求人數に對する求職者数の割合  
本月 前月 前年同月

四、前月との比較  
之を前月の取扱数と比較せしむるに求人數に於て四  
千百十一人減、求職者登録數に於て六十四人同再  
來數に於て千三百五十三人各増、紹介狀交付數  
に於て千七百九十八人就職者數に於て千四百二十  
七人の各減少を示し就職率も前月に比し二%の  
低下を示して居る。由之觀是今月は前月に比し  
著しく需給の不調和を示したようである。然し  
此の如きは主として本年三月卒業兒童の職業紹  
介事業が一段落を告げたこと、一般學校卒業未  
就職者が殺倒したことによるとと思はる。

二、各國雇用統計  
最近に於ける諸國の雇用狀況にして表示せる如き  
基數より算出せる雇用指數である。

ロスコクエチ アキバ	ドンラクイウス	典 瑞	アシロ	蘭 波	ドンラザネ
賃組 金合 庫保 比 半 率 付 被 者 給	庫業失 業失 全失業	組 合員 比 半 率 質 數	登 錄 失 業 者	登 錄 失 業 者	失 業 協 會 保 比 半 質 數
— 20,300	(1.7) (4.5)	14.2 37,135 (1,025,000)	181,672	16.1 49,424	
— 20,131	(月二十年昨)	13.2 35,183 (月八年昨)	179,644	8.0 24,640	
—		— —	167,676	— —	
1,107,858		248,588	234,006		309,063

瑞 典	米 國	ニエ アス ト	カナ ダ	獨 逸	年 月 日
					數 基
—	87.3	110.9	109.2	111.0	月七年二和昭
—	87.4	108.9	109.7	111.5	八 九 十
100.2	88.0	104.6	109.0	111.8	月 一 十
—	87.6	103.9	107.5	112.3	月 二 十
—	85.9	102.8	106.8	109.7	月 一 三 和 昭
99.9	85.1	102.0	99.5	103.8	月 一 年 三 和 昭
—	84.2	105.1	100.8	104.3	二 月
—	85.5	—	101.4	—	近 數 全 基
	184,887	2,984,424	33,166	839,604	

三、フランス徒弟法  
本年三月二十日の法律を以て、フランス労働法中徒弟契約に関する章が改正された同改正によつて法律適用の範囲が廣くされ及び徒弟訓練の監督が更に嚴重にされるに至つた。同法によれば、爾後徒弟契約を締結する場合は法定の契約證書若しくは私の契約證書を作成し雇傭主及び徒弟の法定代理人が契約書の一通を保存し更に一通は地方當局に提出する。雇傭主は亦徒弟の勞働手帖に契約を記載しなければならぬ。同契約は勿論その職業に於ける慣習に従ひ法規によつて設立せられた徒弟委員會がある場合にはその監督と保證を受けねばならない。

以上の外、同契約書には賃銀關係徒弟は技術教育の課程を修了すべきこと及び、契約不履行の場合に於ける賃償額を明記しなければならない。

又、訓練の結果が不適當なる場合若しくは重大なる違反により徒弟が犠牲となるおそれある場合は雇傭主は徒弟教育の権利を制限若しくは停止せらる。徒弟が適性を缺き若しくは明かに不能なる場合は同契約を取消することを得る。

徒弟契約期間の修了の場合は地方職業教育當局の試験を受くる事を要し之に及第せる時は免許狀を交付せられる。

四、獨逸少年農業者事情  
獨逸に於ける最近の國勢調査 (一九二五年六月一日) によれば全國にて農業に從事せる十四歳以下の少年は三九〇、四一二人 (男子二〇二、〇九八人、女子一八八、三一四人) にして一九〇七年の調査に現けれたる五一二、三二八人より一二一、九一六人の減少を來してゐる。之が理由としては先づ土地の開墾に從ひ、少年を多數雇用せる森林企業が減少せること、一般に大人の勞働時間が減少したので、父親が工場より歸へつて後、從來其の妻と息子に任せてあつた田地を耕作すること、及び全國失業せる大人が多くなつた爲である。農村の作業の機械化も考へ得るが之は必ずしも少年雇用者數に直ちに影響するとは考へられぬ。尙之が原因としては失業成年者を職業紹介の力によりて田舎に多數送つたこと戰争中の出生率減退も影響してゐる。

### 三、前年同月との比較

尙前年同月の取扱数と比較するに求人數に於て一千八百二十六人増求職者登録数に於て三千四百十六人減同再来数に於て千六百六十人増紹介狀交付數に於て二千五百二人就職者數に於て千三百三十七人各減少を示し就職率は前年同月同様二八%である由之觀是即ち求人數も昨年に比し増加したる點などを考ふれば昨年同月に比しや真くなつて來たようである。

### 四、各管内状況

#### (一) 東京地方職業紹介事務局管内

管内東京府に於て一箇所を減した之を前月に於ける取扱数と比較するに求人數に於て三百四十九人求職者登録数に於て二百七十四人各減同再来数に於て二百七十四人紹介狀交付數に於て九人の各增就職者數に於て九十七人の減少を示してゐる。

職業別に觀れば求人數にありては工業、金屬業、商業、水産業、戸内使用人に於て減じ土木建築農林業、通信運輸及雑業に於ては増加して居る小分類に依れば減少せしもの三十一種増加せしもの二十五種増減なきもの三種である求職者登録數にありては工業及雑業、土木建築、水産業、戸内使用人及雑業に於て減じ商業、農林業、通信運輸に於ては増加してゐる又小分類に依れば減少しもの二十八種増加せしもの二十九種増減なきもの三種である。

尙本月東京工廠に於て臨時募集をなしたので機械器具、金屬工業に屬する職工の大口求人があつた又昨年來繼續せられた野田醤油會社の爭議

は四月二十日解決を告げ千四百人の職工中約七

百人解雇せらるゝこととなつたが半農半職工の状態であつたので約四百名は歸農するものと見られ残り三百名の内約百二十名の者が職業紹介の必要ある者と認められ日下之に關し千葉

縣當局と協力調査中である。

#### (二) 大阪地方職業紹介事務局管内

管内兵庫縣に於て一箇所減少した之を前月に於ける取扱数と比較するに求人數に於て二千九百九十三人就職者數に於て五百二十六人各減少

三人減求職者登録数に於て七百十八人同再来数に於て千百五十一人各増紹介狀交付數に於て八百九十三人就職者數に於て五百二十六人各減少

前掲に依れば求職者登録数並に同再来数の増加に反し求人數の激減は紹介就職の困難なる状態を示す而して職業別に依る増減は求人數に於て

農林業、水産業の増加を除く他は何れも減少を示し又求職者數に於て工業及雑業、商業、農林業水産業等増加し他は減少してゐる尙本月十一日陸軍造兵廠大阪工廠より大阪市中央職業紹介所を通し旋盤工四百六十二名の求人申込あり次て

同月十五日更に六百名の追加申込ありて合計一千餘名求人に對し同月二十八日至る迄公益職業紹介所に依る求職者は三百九十九名にして二百八十一名の就職者を見たり。

#### (三) 名古屋地方職業紹介事務局管内

本月の取扱数を前月に比較するに求人數に於て三百三十六人減求職者登録数に於て二十五人同再来数に於て百四十八人紹介狀交付數に於て三百八十七人の各減少を示してゐる。

職業別に觀れば商業、戸内使用人、雑業に屬す

ものは兩月取扱数に大差はないが工礦業土木建築に屬するものは減少の程度が甚しい。

（四）福岡地方職業紹介事務局管内

本月の取扱数を前月に比較するに求人數に於て五百二十三人減求職者登録数に於て四百五人各減一〇〇に對し求職者一六人の割合である。

同再来数に於て七十六人増紹介狀交付數に於て五百六十八人就職者數に於て四百十七人の各減少を示してゐる。

職業別に觀れば商業、戸内使用人、雑業に屬するものは兩月取扱数に大差はないが工礦業土木建築に屬するものは減少の程度が甚しい。

（五）需給關係

本月内の求人及求職者の取扱を見るに求人數六萬千七百三人求職者登録數七萬千六百六十五人で求職者超過九千九百六十二人である即ち求人數一〇〇に對し求職者一六人の割合である。

次に之を性別に就いて見れば男子は求人數四萬六千四百十人にして求人一〇〇人に對し一二八人の割合である。

女子は求人數一萬五千二百九十三人に對し求職

するに當り先づ職業紹介所の分布狀態を觀るに北海道五、東京十一、神奈川四、大阪四、兵庫二、愛媛一、愛知三、長崎一、福岡一、合計三十二ヶ所である。而して是が取扱狀況を觀るに

求人數二〇四・六五一人（男三〇、女六七）女三、八四〇就職率二三・七%二七・八%二六%

求職者數二〇・六九人（男三六、女五〇）女四、二九〇就職者數二〇・四〇三人（男三〇、女三、八九〇）

右三十二ヶ所の職業紹介所中一萬人以上の取扱求人數を算するものを擧ぐれば次の如くである。

求人數者數就職者數

東京市深川公園職業紹介所二〇・八三二二・五七一三〇・八二

東京市芝浦職業紹介所二五・四四二二五・六五二二五・四四

神戸市西部労働紹介所三・六八二三・五八一三・六八二

東京市江東橋職業紹介所二六・二三二二・〇〇二二・二

名古屋市日置労働紹介所二六・二七二七・五〇二六・三七一

大阪市京橋職業紹介所二四・二四二九・八〇二四・三

東京市玉姫職業紹介所三・七三二二・四三三二・七四

神戸市東部労働紹介所二九・三二三・〇三二一〇・七三

名古屋熱田労働紹介所二〇・二三二〇・三七一〇・九

之を前月の取扱数に比較するに求人數に於て二四〇五四人（男二二、六七七女、三七七）求職者數に一、四〇四各増加を示してゐる。依之先月に比し當月の労働市場の可なりに活況を呈したるを知る

之土木建築事業界に於ける例年の傾向にして季節

誌統計の示せる通りで茲にその統計の大要を説明

（約四倍）

（約三倍）

昭和三年五月に於ける全国日労労働紹介概況は本

外交集金人、小店員

（約四倍）

（約三倍）

温暖となるに従ひ日浦労働市場は活氣を帯びるのである。

更に前年同月との取扱状況を比較するに紹介所數に於て二ヶ所を増し取扱數に於ては求人數六一、○九八人求職者數七三、七三八人紹介件數(就職者數)六一、二五三件各増加してゐる。

次に各地方職業紹介事務局管内の情況を各別に觀察するに

一、東京地方職業紹介事務局管内

本局管内に於ては前月に較べて約壹萬五千人の求人數増加である。現在職業紹介所の求人數の中で大部分を占めて居るのは官公署方面であるが四月は丁度新年度に入つた當初で豫算の關係上人夫の使用數が少かつたが四月の半頃から段々と求人數を増した爲め前記の如き増加を示したのである。

尚之を前年五月に較ぶる時は求人數に於て約二萬三千人の増加であるが地方的に觀れば北海道に於て六千人東京市に於て二萬人を増し横濱市に於ては却つて三千人を減じてゐる北海道に於て増加したのは札幌、小樽に於て勞働紹介に積極的に活動を開始したる所に負ふ所多く東京市に於ける増加は主として市土木局及水道局關係事業の求人増加に因る又横濱市に於ける減少は市む埋立工事完了と區劃整理工事の終了に近く求人數減少に因るものである。

當管内の求職者數の求人超過は一萬五千二百六十一人で前年の同超過一萬八千六百四十一人に較ぶれば需給の開きは小さくなつてゐるが昨年五月の同超過一萬三千六百二十三人に較ぶれば需給の關係は良好にして紹介所の普及發達の一 片影を現すものゝ如し。

四、福岡地方職業紹介事務局管内

本局本月の取扱を前月と比較すれば

一般土木建 築材料商		
上木、大工、左官、仲仕、車 力、コンクリート助手	本月	前月
求人數 四、六六四	四、六六四	增
求職者數 五、三三三	三、一五九	一、四九九
紹介所數 二	一	一
就職者數 六、七九九	一、四五七	一、四五七
本月取扱營業者數 二、五一七	三、四〇三	三、四〇三

昭和三年四月中に於ける全國營利職業紹介事務概況は次の通りである。

#### 營利職業紹介事業概況 (四月分)

昭和三年四月中に於ける全國營利職業紹介事務概況は次の通りである。

一、營業者總數	本月取扱營業者數
二、取扱別	一般
取扱別	日能
求人數 八四、一一二	五、二二五
求職者登録數 六七、二四四	六、七九九
求職者再登録數 一六、二三八	

本月内事業傾向としては官公署に於ける新年度に於て二ヶ所を増し取扱數に於ては求人數六一、○九八人求職者數七三、七三八人紹介件數(就職者數)六一、二五三件各増加してゐる。

二、大阪地方職業紹介事務局管内

本管内本月の取扱を見るに前月に比し求人數に於て六、〇五八、求職者數に於て六、七〇七、紹介件數に於て六、〇五八の各増加を示してゐる。斯かる取扱數の増加は神戸市に於て失業救済土木事業の繼續實施に伴ふ労働者の需要の増加したためなり。

次に前年同月との比較及増減を見れば如次である。

取扱數	本月	前年	増減
求人數	五〇、八三	三、三九	(△印減)
求職者數	五、六一	三、三七	(△印減)
紹介件數	五〇、八三	三、六三	(△印減)

前年同月に比し各取扱數共著しき増加を示せるは神戸市に於て失業救済土木事業を繼續せるが爲なり。

就職先の主なる職業としては大阪市に於ては市電氣局(四、三六一人)同水道部下水課(三四七人)の土工、遞信局(五、六八一人)大阪製鐵所(一、七九二人)の雜役及三光組(二〇五人)の沖仲仕を主なるものとし神戸市に於ては遞信局、市土木、水道課の土工、雜役及失業救済土木事業に使用する人夫土工等あり又本月に於ける求業者数の割合

求職者數に對する	六四%
就職者數に對する	七二%

之を前月の取扱狀況に比較するに營業者數に於て二人取扱營業者數に於て四八〇人の増加をなし求人數八七二人求職者數五、六七八人、就職者數四、九六七人各増加を示して居り就職率は前月に比し三%の増加を示してゐる。由之觀是本月の需給狀況は先月に比し多少ながら好轉せるを認めらる。

次に前年同月の取扱情況に比較するに營業者數に於て二五〇人減少せるに取扱營業者數に於ては却て四七人の増加を來し其の取扱數に於ては求人數五〇三人減に反し求職者數五、三二七人就職者數四、四六四人各増加をなし求職者數に於ては去年の五四%に對して六四%即ち一〇%の増加を示してゐる。尚業態別に就職狀態を比較對照するに工業及雜業に於て五一八人農林業にて二一二人水產業にて一六四人通信運輸にて一八四人雜業にて一七五人各減少を示し商業に於て三七六人戸内使用者に於て五、二七九人増加せるを見る。由之觀是本月は昨年同月に比し稍々恢復を示してゐる様である。然して本月に於ける就職者の増加は直接

ある。

次に本月取扱情況を業態別にA求人數B求職者數(登録再登録を合計したるもの)C就職者數につき述べんに

A 求人數	B 求職者數	C 就職者數
八四、一一二	五、二二五	六、七九九

職者の求人超過は八千八百二十五人にして前月同超過八千百七十六人に對して其開きは擴大せられたり。

三、名古屋地方職業紹介事務局管内

當局管内に於ける取扱狀況をみると前月に比し間休止中であった諸事業は本月に入り一時に活動を呈する事となり木材積取人夫の如き多數の求人があつた。

次に前年同月との比較及増減を見れば如次である。

取扱數	本月	前年	増減
求人數	五〇、八三	三、三九	(△印減)
求職者數	五、六一	三、三七	(△印減)
紹介件數	五〇、八三	三、六三	(△印減)

前年同月に比し各取扱數共著しき増加を示せるは名古屋市熱田勞働紹介所に於て名古屋工廠に於ける定期検査執行に伴ふ機械器具の手入整頓並に屋内外掃除のため一時に多數の求人を受けたると其他の鐵工場金物店運送店等の漸次需要増加し且本月は前月に比し日數一日多く降雨薄くして快晴に恵まれたる事に起因するものゝ如し求職者數の減少したるは冬期に出稼せたるためなり。

次に前年同月との比較及増減を見れば如次である。

取扱數	本月	前年	増減
求人數	五〇、八三	三、三九	(△印減)
求職者數	五、六一	三、三七	(△印減)
紹介件數	五〇、八三	三、六三	(△印減)

前年同月に比し各取扱數共著しき増加を示せるは神戸市に於て失業救済土木事業を繼續せるが爲なり。

就職先の主なる職業としては大阪市に於ては市電氣局(四、三六一人)同水道部下水課(三四七人)の土工、遞信局(五、六八一人)大阪製鐵所(一、七九二人)の雜役及三光組(二〇五人)の沖仲仕を主なるものとし神戸市に於ては遞信局、市土木、水道課の土工、雜役及失業救済土木事業に使用する人夫土工等あり又本月に於ける求業者数の割合

求職者數に對する	六四%
就職者數に對する	七二%

之を前月の取扱狀況に比較するに營業者數に於て二人取扱營業者數に於て四八〇人の増加をなし求人數八七二人求職者數五、六七八人、就職者數四、九六七人各増加を示して居り就職率は前月に比し三%の増加を示してゐる。由之觀是本月の需給狀況は先月に比し多少ながら好轉せるを認めらる。

次に前年同月の取扱情況に比較するに營業者數に於て二五〇人減少せるに取扱營業者數に於ては却て四七人の増加を來し其の取扱數に於ては求人數五〇三人減に反し求職者數五、三二七人就職者數四、四六四人各増加をなし求職者數に於ては去年の五四%に對して六四%即ち一〇%の増加を示してゐる。尚業態別に就職狀態を比較對照するに工業及雜業に於て五一八人農林業にて二一二人水產業にて一六四人通信運輸にて一八四人雜業にて一七五人各減少を示し商業に於て三七六人戸内使用者に於て五、二七九人増加せるを見る。由之觀是本月は昨年同月に比し稍々恢復を示してゐる様である。然して本月に於ける就職者の増加は直接

ある。

次に本月取扱情況を業態別にA求人數B求職者數(登録再登録を合計したるもの)C就職者數につき述べんに

A 求人數	B 求職者數	C 就職者數
八四、一一二	五、二二五	六、七九九

(28)













終